

## 平成 27 年度 公益財団法人日本拳法会第 5 回定例部長会 議事録

日 時：平成 28 年 2 月 6 日（土）午後 13 時 00 分開会 午後 15 時 00 分閉会

場 所：徐園 会議室

出席者：【会長】茂野直久

【副会長】井上晴雄・木村京守・藤川義人

【局長】（事務）横谷茂雄・（涉外）片山善文・（競技）中村安治  
（地域統括）山本隆造・（事業）上田武司

【部長】（総務）山本一秀・（涉外）井尻丈士・（企画・開発）高田秀信  
（広報）肥田玄三・（財務代理）吉本有吾・（技術）川端幹夫  
（研究・和歌山）川口裕久・（国際）岩尾 勤・（経理）篠崎 正  
（事業第一・実業団連盟）内田義春・（事業第二）竹中洋一・（事業第三）松本良朗

【競技連盟部長】（社会人連盟代理）川岸正典・（学生連盟）藪 達敏・（高校連盟）橋岡典昭  
（少年連盟）小泉賢一郎（女子連盟）長江和子

【府県連盟部長】（大阪）山尾英一・（奈良）撫養義朗・（兵庫）桐田 清

【昇段級審議会副議長】深山陽生

【審判団長】高 信志

【審判団長補佐】中本義信

【監査】井藤晴久・佐藤賢治

【書記】（総務次長）服部哲也（経理次長）山川剛史（総務委員）西村尚雄

内規に基づき部長会の成立の旨、総務部長より報告。

内規に基づき茂野会長が議長となり議事進行。

### ○議題

#### 1. 少年級について

- ・少年連盟部長より公益財団法人日本拳法会 少年級認定実施要項（案）少年級審議規定（案）について説明があり、内容について質疑応答、訂正等が行われた。
- ・井藤監査より少年級認定について各道場で公平性を保つ為に試験回数を統一する必要があるのではないかとの意見があった。
- ・藤川副会長より審査基準の統一も必要との意見があった。

#### 2. 会費制について

- ・企画開発部長より拳法会会員制度を導入し会費の徴収に関する事業を今後「会員登録委員会」として協議を進めていくとの報告があり、平成 28 年度は準備期間とし平成 29 年度より実施予定であるとの説明があり今後のスケジュールについて報告があった。

#### 3. 公認指導員について

- ・事務局長より公益財団法人日本拳法会公認指導員育成（3 級、少年級の合否判定者資格を有する）についての説明があった。
- ・国際部長（指導部長代理）より公益財団法人日本拳法会公認指導員講習会開催要項（案）について説明があった。
- ・会長より昨年度は事故、不祥事等が発生し新たに公益財団法人日本拳法会に相応しい組織の見直しが必要であり公認指導員は必要との意見があった。
- ・佐藤監査より現在の 3 級認定員も新たに認定員の資格が必要かとの意見があり事務局長より新たに講習科目として加わった科目もあり講習会には参加していただきたいとの説明があった。但し、現在の 3 級認定員の資格は今後も継続する旨確認があった。

その他 1 雑古部長質疑（前回部長会での質疑）に関する回答のついて

- ・山本部長より第 5 期（平成 20 年度）—第 11 期（平成 27 年度）の経常収支（経常収入、

事業費、管理費)について再度、説明があった。

- ・会長より昨年 12 月に行われた幹部役員会にて山本部長より第 5 期からの経常収支の説明を受け詳細を確認したとの報告があった。

その他 2 昇段級審査会時におけるマット使用について

- ・事業第一部長より昇段級審査会の現在の試合会場の設備について説明があり事故防止の観点からも板フロアでのマットの使用が必要との意見があり部長会にて承認された。

その他 3 拡大役員会について

- ・事務局長より拡大役員会進行について説明があった。

○全国連盟からの報告

1. 新統括競技団体についての状況報告

閉会

以上（書記 服部哲也）

平成 28 年 2 月 6 日